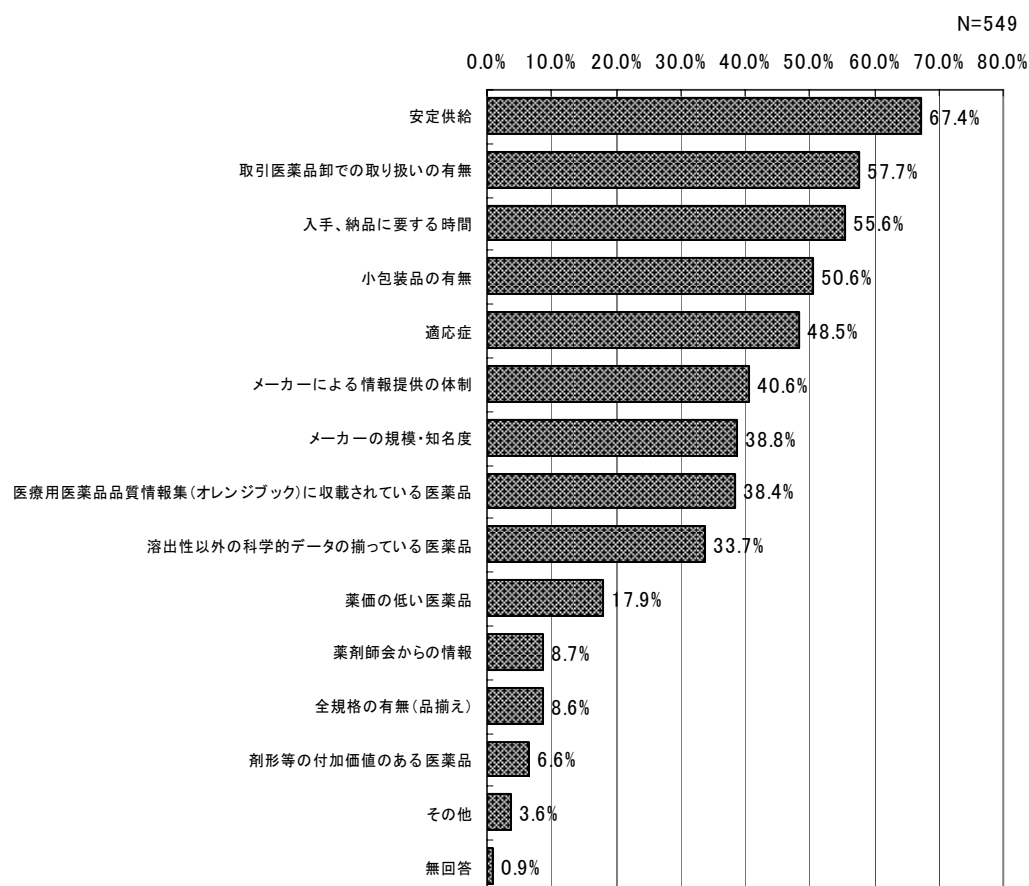


5) 後発医薬品を採用する際に重視している事項

薬局全体では、「安定供給」(67.4%)が最も多く、次いで「取引医薬品卸での取り扱いの有無」(57.7%)、「入手、納品に要する時間」(55.6%)となっている。

図表 57 後発医薬品を採用する際に重視している事項（複数回答）



※通称「オレンジブック」は医療用医薬品品質情報集を指す。

各薬局の後発医薬品への変更率（後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんを実際に後発医薬品に変更した割合）別にみた、後発医薬品を採用する際に重視している事項は以下のとおりである。

図表 58 後発医薬品を採用する際に重視している事項
（複数回答：後発医薬品への変更率別）

	合計		変更なし		変更率 50%未満		変更率50～ 90%未満		変更率 90%以上		無回答	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
合計	549		210		212		40		46		41	
安定供給	370	(67.4)	134	(63.8)	145	(68.4)	30	(75.0)	33	(71.7)	28	(68.3)
取引医薬品卸での取り扱いの有無	317	(57.7)	113	(53.8)	129	(60.8)	22	(55.0)	29	(63.0)	24	(58.5)
入手、納品に要する時間	305	(55.6)	115	(54.8)	129	(60.8)	18	(45.0)	27	(58.7)	16	(39.0)
小包装品の有無	278	(50.6)	101	(48.1)	115	(54.2)	17	(42.5)	24	(52.2)	21	(51.2)
適応症	266	(48.5)	86	(41.0)	119	(56.1)	20	(50.0)	29	(63.0)	12	(29.3)
メーカーによる情報提供の体制	223	(40.6)	85	(40.5)	94	(44.3)	17	(42.5)	16	(34.8)	11	(26.8)
医療用医薬品品質情報集(オレンジブック)に記載されている医薬品	211	(38.4)	67	(31.9)	86	(40.6)	26	(65.0)	21	(45.7)	11	(26.8)
メーカーの規模・知名度	213	(38.8)	82	(39.0)	89	(42.0)	17	(42.5)	12	(26.1)	13	(31.7)
溶出性以外の科学的データの揃っている医薬品	185	(33.7)	74	(35.2)	73	(34.4)	13	(32.5)	16	(34.8)	9	(22.0)
薬価の低い医薬品	98	(17.9)	35	(16.7)	40	(18.9)	9	(22.5)	12	(26.1)	2	(4.9)
薬剤師会からの情報	48	(8.7)	20	(9.5)	18	(8.5)	6	(15.0)	2	(4.3)	2	(4.9)
全規格の有無(品揃え)	47	(8.6)	21	(10.0)	19	(9.0)	1	(2.5)	3	(6.5)	3	(7.3)
剤形等の付加価値のある医薬品	36	(6.6)	13	(6.2)	14	(6.6)	5	(12.5)	2	(4.3)	2	(4.9)
その他	20	(3.6)	13	(6.2)	7	(3.3)	-	-	-	-	-	-
無回答	5	(0.9)	3	(1.4)	1	(0.5)	-	-	-	-	1	(2.4)

※通称「オレンジブック」は医療用医薬品品質情報集を指す。